

平峰一貴/Kazuki Hiramine

Date : 2019/09/07,08	Event : Super GT Rd6	Class : 300 Class	Circuit : Autopolis
Team : KONDO Racing	Car : Nissan GT-R 18 Nismo GT3	Driver : 1 st 平峰一貴 2 nd Sacha Fenestras	

Qualify P9 Condition : ドライ

今大会は、BOP とハンディウエイトを合わせて 99 kg と車両は非常に重たい状況で、今大会を迎える前から、厳しい戦いになると皆予想していました。また、フリー走行では連日続いている悪天候の影響で路面状況はとても悪く、タイヤにかなりのグレーニングとピックアップが発生。また今大会は、火山灰が飛んでおり路面はさらっとしていました。かなり難しい状況でしたが、Q1 は Sacha 選手が担当。いつもの安定した速い走りで Q1 を 15 番手で突破。そして、迎えた Q2 は、平峰が担当。Q2 は 10 分間でいつもだと少し待ってからピットを出るのですが、今回は赤旗が発生する事も考え 1 分程待ってからコースイン。タイヤはグレーニングが発生しない様に丁寧にウォームアップしました。チームとはトップ 10 に入るのは厳しいと読んでいましたが、9 番手で Q2 を終える事となりました。後は決勝に向けて、チームと入念にミーティングを行う。

Race Finished P8 Condition : ドライ

スタートは平峰が担当。まずはきっちりスタートを決めて、スタートラップに 1 つポジションを上げ 8 位に。そのままタイヤを労わりながら、前にいるライバル勢に付いていく様に懸命に攻めました。そして、中盤にさしかかり T1 で物凄い大粒の雨が降り始め、T 1 から Sector 2 そして Sector 3 へと雨が移っていきました。我々 56 号車はスリックタイヤでコースにステイすることを選択。その間に 2 回もの Safety Car が導入され、Pit In を済ませていない我々にとっては、不利な状況となってしまいました。そして 2 回目の Safety Car が Pit に入った次の周に、我々も Pit In。この時もまだ雨が降っていましたが、後半に雨は止むと予想し、スリックタイヤで Sacha 選手に交代。彼のスティントでは、15 番手付近を走っていたのですが、後半に路面が乾き始め前方にいるウェットタイヤを選択したライバル勢のペースが落ち始めました。それを沢山抜いてきたことで 8 位までポジションを上げフィニッシュ！かなり荒れたレースでした。

Summary

スポンサー各社様、今大会も応援有難うございました！

レースは予想していた以上に荒れ、一時は絶望的だったのですが、何とか 8 位でフィニッシュし貴重なポイントを持ち帰る事が出来ました。正直なところ、今回はポイントを獲得する事は難しいかもしれないとチームと話していましたが、みんなで最後までベストを尽くす！という意識を強く持ち最後までやり抜いた結果だと思います。この強い意識を持ち続けていられるのも、皆様の応援のお陰です。感謝しております。

次戦は、もう来週末にスポーツランド菅生で開催されます。全くと言っていい程に時間はありませんが、引き続きチームそして Sacha 選手とベストを尽くしていきます。引き続き応援の程、よろしくお願いいたします！



